

2024年9月19日

筑波大学と千代田化工建設 共同研究

附属病院内に細胞培養加工施設(CPF)を建設完了、運用開始

- つくば地区・北関東エリアにおける再生医療の研究開発を加速 -

国立大学法人 筑波大学(所在地:茨城県つくば市、学長:永田恭介、以下「筑波大学」)および筑波大学附属病院(所在地:茨城県つくば市、院長:平松祐司、以下「附属病院」)は、最先端の再生医療の実用化を推進するため、千代田化工建設株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、代表取締役社長 太田光治、以下「千代田化工建設」)との共同研究に取り組んでまいりましたが、この度、新たな細胞培養加工施設(Cell Processing Facility:CPF)名称:TACT(Tsukuba Advanced Cell Therapy Facility)を9月末建設完了し、本年10月より運用開始しますので、お知らせいたします。

■背景

筑波大学および附属病院では、再生医療推進室を設置し、つくば地区および北関東エリアにおける再生医療を担うべく、かねてより再生医療等製品の治療と研究開発を進めておりました。本件は、共創の場「つくばデジタルバイオ国際拠点」*1を通じて、千代田化工建設との共同研究に至り実現いたしました。今回の成果として、病院内の限られたスペースに最先端の細胞培養加工施設を設置できたことが挙げられます。これにより、医師や研究者と企業が近い距離で実用化に向けて併走できる環境が実現しました。今後、再生医療の実用化に向けた産学連携において、製造工程の安定化検討から治験薬製造までを一気通貫で立ち上げできる実証棟として TACT が機能することにより、再生医療の発展加速が期待できます。

プロジェクトとして、既にかん免疫治療実用化研究のベースとなる iPS 細胞由来免疫細胞の製造工程・技術の確立が予定されており、今後もつくば地区および北関東エリアにおける再生医療のリード役として、産学連携による共同研究の枠組みを拡げながら、同施設をベースに再生医療の研究開発に一層取り組んでまいります。

*1 筑波大学、つくば地域をコアに展開する「産・官・学・民」連携によるバイオ分野の学際研究プロジェクト
<https://tsukubadigitalbio.jp/>

■新細胞培養加工施設(CPF)の概要・特徴

- Phase2 治験まで 対応できる細胞製造体制構築を目指します。
- 2 つの独立した調製室を設置。これにより、複数のプロジェクトを同時進行で行うことが可能です。
- 筑波大学内部のプロジェクトだけでなく、外部のプロジェクトも積極的に支援します。これにより、幅広い研究開発の促進が期待されます。

以上



国立大学法人 筑波大学について

筑波大学は、東京教育大学の移転を契機に、1973年(昭和48年)10月に開学しました。「開かれた大学」「教育と研究の新しい仕組み」を特色とした「新構想大学」として発足した国立の総合大学です。大学改革の先導的役割を果たしつつ、教育研究の高度化、大学の個性化、大学運営の活性化など、国際競争力のある大学づくりを推進しています。

千代田化工建設株式会社について

千代田化工建設は1948年の創業以来、石油・ガスといったエネルギーから、化学、環境、省エネ、産業設備、ライフサイエンスまで幅広い分野において、プラントの設計・調達・建設(EPC)を中心に、数多くのプロジェクトを世界各地で手掛けています。

当社グループは、創業以来、総合エンジニアリング企業としての使命を背負い「技術による社会への奉仕」をスローガンに掲げ、技術の力で社会を支えるインフラの構築に携わってまいりました。時代の変化を着実に捉え、当社グループが持つ技術力、統合力、課題解決力といった能力を生かし、社会・顧客・パートナーと共創することで、様々な社会課題を解決していくことが当社のパーパス「社会の“かなえたい”を共創(エンジニアリング)する」(Enriching Society through Engineering Value)です。パーパスの体現を通じて社会価値を創出し、人と地球の持続的で豊かな社会の実現に貢献していきたいと考えています。

お問い合わせ先:

国立大学法人筑波大学

広報局

TEL: 029-853-2040

MAIL: kohositu@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学附属病院 再生医療推進室

TEL: 029-853-3212

MAIL: oprm@u.tsukuba.ac.jp

千代田化工建設株式会社

IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻

Email: irpr@chiyodacorp.com

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>